

(別紙4(2))

事業所名 有限会社ほほみグループホーム日陽

目標達成計画

作成日: 令和 4年 3月 7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	利用者の感染症防止を第一に考え外出は散歩程度又は広い公園で人と接触しないところのみに限定している	感染状況を見て、コロナが収束したら以前のように定期的に外食や買い物、季節の花を見に出かける。	利用者様にコロナが収束したらどこへ行きたいか等を聞いて楽しみを膨らませてもらう。コロナウイルスの感染者を出さない。	12ヶ月
2	2	地域で行われていたサロンが、コロナウイルス感染拡大防止の為開催されておらず、地域住民と接する機会がない。	コロナが収束し、サロンが開催されたら以前のように出席する。地域の方々に認知症グループホームを知ってもらう。	新型コロナウイルス感染のリスクを冒してまでも外出はしない。利用者スタッフにもコロナウイルス感染者を一人も出すことなく過ごす。	12ヶ月
3	4	地域密着型運営推進会議はコロナウイルス感染対策の為書面により実施し、構成員より意見をもらっている。	コロナが収束したら、会議を開催し、構成員のみなさまに出席していただけるよう働きかける。	コロナが収束したら安心して施設に訪れていただけるよう、利用者スタッフともコロナウイルス感染者を一人も出すことなく過ごす。	12ヶ月
4	35	定期的に避難訓練は行っているが、地域住民や消防団の参加はない。	コロナが収束したら、地域住民にも参加してもらえるよう訓練を計画する。	現状は感染の問題もあり、地域住民に施設に来ていただくことはできない。定期的に避難訓練を実施していることを回覧板等を通して知ってもらう。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。